

フロー型雇用の動態

価格競争、産業転換、情報ネットワーク化が進展する中で、労働市場及び就業構造も流動化・多様化し、成果・業績主義の広範な前進と相まって、日本的雇用慣行における採用管理や人材育成も大きく変化しつつある。

本研究は、上記に触れた変化を考察し、今後の人材活用についての課題とゆくえを探るために、事例研究を行った。

研究委員会メンバー

(主 査)安藤 喜久雄	駒澤大学 教授
(委 員)北浦 正行	(財)社会経済生産性本部 社会労働部長
細工 良識	フリーライター
齊藤 幹雄	東北福祉大学 助教授
鍋田 周一	PANフィールドリサーチ 所長
丹羽 浩正	東洋大学 非常勤講師
平野 文彦	横浜商科大学 教授
谷田部 光一	エム・ディー・アイ 代表取締役・中小企業診断士
山田 修嗣	東洋大学 非常勤講師
(事務局)中島 徹	(財)雇用開発センター 常務理事
川上 方満	(財)雇用開発センター 研究調査部長
田島 博実	(財)雇用開発センター 研究調査課長
荒井 直子	(財)雇用開発センター 研究調査部

目 次

I 人材活用の多様化

第1章 情報化・サービス経済化とフロー型雇用

第2章 就業形態・ワーキングスタイルの多様化

第3章 キャリア形成の現代的課題

II 事例編

§ 1. 企業の第二人事部をめざす総合人材サービス企業

§ 2. 派遣人材の高付加価値化で競争力を高める

§ 3. 中高年齢者の再就職と再就職支援ビジネス

§ 4. 転職先をより早くより確実に

§ 5. わが国初の高齢者専門技術集団

§ 6. パート社員にも能力主義と能力給を適用し、戦力として活用

§ 7. パートのレベルアップを図り、効率的な店舗経営をめざす

§ 8. 無料職業紹介事業の拡充強化

§ 9. 定年退職組合員を対象とした労働者供給事業